

発行日 2023年 10月 31日

エコアクション21

## 環境活動レポート

【活動期間：2022年7月～2023年6月】



**大** 株式会社 吉田組

## 《ご挨拶》

株式会社吉田組は大正8年創業以来、地域と共に歩んでまいりました。弊社は、総合建設業として公共工事を主体に携わり、河川や道路のインフラ整備から、地震や台風、豪雪等の災害復旧工事まで地域のライフラインを担う大変重要な仕事をさせて頂いております。

環境破壊が社会問題化されるなか、建設業においても地球環境の保全は重要な課題となっております。そのため、エコアクション21（環境経営システム）の取り組みを始めました。

これからも社員一同、災害に強い安全な地域を造るために貢献していきたいと思っております。

今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 吉田組  
代表取締役社長

吉田 効

## 《目次》

1. 環境方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2, 3
3. EA21推進体制	P-4
4. 環境目標とその実績	P-5
5. 環境活動の取組計画と評価	P-6
6. 環境関連法規制の遵守	P-7
7. 代表者による全体の評価と見直し	P-7

## 1. 環境方針

### 〔基本理念〕

弊社は、総合建設業として公共工事を主体に携わり、河川や道路のインフラ整備から地震や台風、豪雪等の災害復旧工事まで地域の生活環境・ライフルラインを担う大変重要な仕事をさせて頂いており、これからも社員一同周知徹底して住み続けられる街づくりに貢献していきたいと思っております。

### 〔基本方針〕

基本理念を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ、継続的な改善を図る。

1. 省エネルギーを念頭に置き（ガソリン、軽油、灯油、電気）の使用量の削減を目指す。
2. 廃棄物の削減および水資源の節水をする。
3. グリーン購入を推進する。
4. 地域の清掃活動に参加し貢献する。
5. 環境関連法令を遵守、励行する。
6. 二酸化炭素排出の低減活動に取り組む。
7. 地域のライフルラインを守る。

平成28年11月  
改定 令和2年8月  
代表取締役 吉田 励

## 2. 事業活動の規模

### 1. 事業所及び代表者名

株式会社吉田組  
代表取締役 吉田 励

### 2. 所在地

〒370-0123 群馬県伊勢崎市境東 203 番地

### 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 見友 利光  
事務局担当 関田 結香

TEL : 0270-74-1511  
FAX : 0270-74-2560

### 4. 対象範囲

株式会社吉田組 全組織及び全活動

### 5. 事業の内容

総合建設業(土木・建築工事)

### 6. 事業規模

従業員数 6 人

7. 事業登録

建設業許可

土木工事業 建築工事業 大工工事業 左官工事業  
とび・土木工事業 石工事業 屋根工事業 管工事業  
タイル・れんが・ブロック工事業 鋼構造物工事業  
鉄筋工事業 補装工事業 しゆんせつ工事業  
板金工事業 ガラス工事業 塗装工事業 防水工事業  
内装仕上工事業 热绝縁工事業 建具工事業  
水道施設工事業 解体工事業 造園工事業

○  
有効期限

令和3年6月19日から令和8年6月18日まで

許可番号

群馬県知事 許可 (特-3) 第 7489号

産業廃棄物（自社運搬のみ）

①廃プラスチック類、②紙くず、③木くず、④纖維くず、  
⑤ゴムくず、⑥金属くず、⑦ガラスクズ・コンクリートくず  
及び陶磁器くず、⑧がれき類（以上8種類）

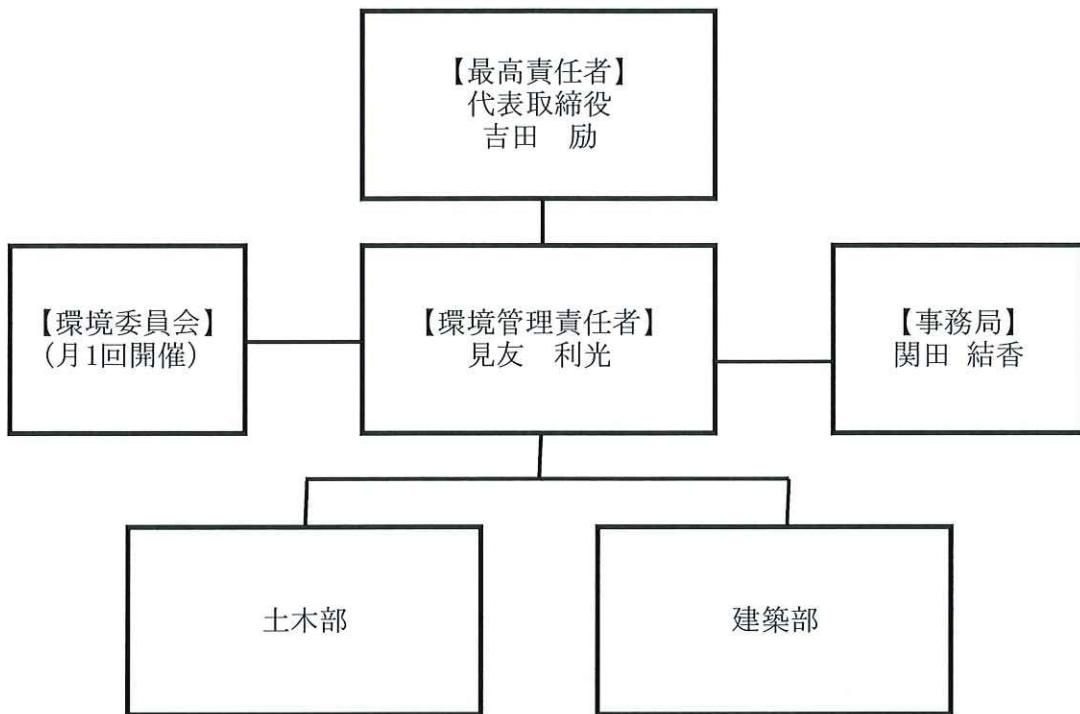
○  
有効期限

令和元年5月15日から令和6年5月14日まで

許可番号

群馬県 01000019483

### 3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	<p><b>【代表取締役 吉田 効】</b></p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p><b>【見友 利光】</b></p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p><b>【関田 結香】</b></p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

## 4. 環境目標とその実績

目標を下記の通り定め活動をしました。

### 1. 環境目標とその実績

\*購入電力の排出係数は、0.505kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。

環境目標	基準値	今年度目標				中長期の目標
		2020年		2022年		
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	69.0	2020年実績に対して2%削減	68.3	76.1	目標未達成 前年より削減するも売上減により未達成	2020度に対して3%削減
②売上高100万円当たりの水資源投入量の削減(m <sup>3</sup> )	0.24	2020年実績に対して2%削減	0.24	0.32	水資源投入量は昨年度より削減した	
③産業廃棄物再資源化率	100	再資源化率100%	100	100	分別の徹底ができた	再資源化率100%
④本業に関する目標 *化学物質の取り扱いはありませんでした	—	優良工事1件以上	—	0件	目標未達成	優良工事1件以上

### 2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2021年	2022年
①二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	15,164	13,620
②産業廃棄物の再資源化率	100.0	100.0
③水資源投入量 (m <sup>3</sup> )	71.0	58.0

## 5. 環境活動計画の取組みと評価

\*2022年7月～2023年6月の12ヶ月の活動の取組みと評価をしております。

環境活動計画	環境活動計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	①～③は、既に取り組んでいた。④、⑤は各自エコドライブへの意識が浸透され、チェックリストを活用して点検、整備の励行が図れた。  次年度の取組内容 エコドライブの取り組みを強化し、使用燃料削減を推進する。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	置場の分別を徹底することにより、混合された無駄な廃棄物の発生を未然に減らすことができた。  次年度の取組内容 継続・維持を励行。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	①水道料金の把握。②、③は目につきやすい場所に節水を促す掲示板を掲げ、節水への意識の向上を図った。  次年度の取組内容 雨水等の利用を推進
4. グリーン購入の推進 ①購入品の調査 ②グリーン購入品の選定 ③グリーン購入品の決定	事務用品などの購入品を調査してグリーン購入適合品か否か確認した。  次年度の取組内容 引き続き現状把握する。
5. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品（化学物質含有）の把握 ②購入量の把握 ③SDSの入手 ④取扱商品一覧表の作成 ⑤管理手順の策定	化学物質が含まれているであろう溶剤等のSDSを入手して化学物質含有について調査・把握をした。その結果、当社で使用している溶剤等には化学物質が含まれていないことが確認できた。管理手順の策定の必要はなかった。  次年度の取組内容 新規の溶剤等を使用する際は必ずSDSを入手して化学物質の含有について確認する。
6. 本業に関する目標 ①地域貢献への積極的な取り組み ②現場内の整理整頓の実施 ③道路工事の早期開放 ④社内規格値を設けて施工	・地域貢献として、清掃作業に従事した。 ・エコアクション21にて環境負荷削減へ取り組んだ。 ・各現場の整理整頓を実施。  次年度の取組内容 ・環境負荷への活動を推進し定着を図る。

## 6. 環境関連法規制の遵守

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法
フロン排出抑制法	点検・記録・報告	遵法

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体の評価と見直し

今年度の活動内容は、売上高あたりにしてしまうと目標未達成となってしまいましたが、化石燃料と電気料ともに過去2年において二酸化炭素の排出量は削減しています。  
また、水資源においても2年ぶりに削減することができました。  
今後の課題としては、本業の営業方針を見直し目標達成に取り組みたいと思います。  
また引き続き、今後も住みつけられる街づくりに貢献していきます。